

5月で51歳になりました！

にじますぼちぼち通信 2023年6月号

○ にじますだもの みんなちがって、みんないい、はず

お客さんに料理を持って行ったときに「前より魚小さくなった？」と言われることがたまにあります。料理ごとにサイズを決めてはいるものの、ニジマスも生き物、まったく同じサイズをそろえるのも難しいところ。大きくなるぶんにはいいじゃないか、と思われるかもしれませんが、しかしこちらが「今日の魚は特別に大き



格差を強調しようと大きい方を手前においたところ、実際以上に大きく見える写真になってしまいました。

い」と思っている、お客さんの方で「これが普通の大きさなんだ」と思われてしまいますと、次に来たときには冒頭のようなイメージになってしまう訳です。今までも仕入れごとに多少のバラつきはありましたが、今回運ばれてきた魚は今までにないぐらい大小の差がありました。大きい魚と小さい魚を比べると倍以上違うのでは、というものも結構あって、料理用に大きさをそろえて用意するのに苦労しました。と、そのあたりをご理解いただいて、「今日の魚は小さいかな」と感じたときは「ほかの料理がいっぱい食べられる」と考えてもらえるとありがたい... というのも勝手な言い分ですかね。ちなみに「前より魚大きくなった？」と言われたことはいまだにありません。不思議ですね。

○ 植えて、咲いて、掘って、植えて、咲いて、掘って、植えて.....

テツおばあちゃんが元気だった頃に比べると今の庭はずいぶんと殺風景に、いやスッカリとしております。人が足りない手が足りない、という言い訳をしてきましたが、近年ようやく「思いが足りない」ことを自覚いたしました。テツおばあちゃんほどの「庭の花」への熱い思いは、どうも持ち合わせていないようです。そんな頼りない私に代わっておばあちゃんの意味を受け継いでくれているのが庭仕事を一手に引き受ける忠雄さん。今年も一人で庭一面にカンナの苗を植えてくれました。5月の終わりに植えた苗は夏から秋にかけて花をつけ、霜が降りるころに再び掘り出してハウスの中で冬を越します。春になると再び庭に植えて夏を迎え... 繰り返すこと50年余り。頭が下がります。



順調にいけますと7月半ばから咲き始め、8月いっぱい大きな花が楽しめます。当初は赤と黄色だけでしたが、今は白やピンクの花も。

○ うわさの真相や、いかに



芽室の街から当園に向かう道路の脇に小さな看板があるのにお気づきでしょうか。この看板でから揚げがバンバン売れるのを期待しているというよりは、通るたびに「なんか気になる」と思ってもらえればといいかな、と思い設置しています。先日とうとう「あの道路わきの看板が気になって来ました」というお客さんが見えました。そこまではねらい通りでしたが、ひとつだけ誤算がありました。鶏のから揚げだと思われていたのです。ここで生まれ育った自分と

しては、から揚げといえばニジマスですが、どうも世の中の大勢はそうではないようです。残念。